

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版
(仮称)京都田辺中央病院 中央館 増築工事■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.)

スコアシート

実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		重み係数		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.9
Q1 室内環境品質			0.40			2.9
1 音環境		3.3	0.15	3.2	1.00	3.3
1.1 室内騒音レベル	共用部:NC-30~40、病室:NC-30~35	3.9	0.40	4.0	0.40	
1.2 遮音		3.0	0.40	3.6	0.40	
1 開口部遮音性能	病室:T-2	-	-	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能	-	3.0	1.00	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	-	-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	-	-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音	-	2.8	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境		2.5	0.35	2.8	1.00	2.6
2.1 室温制御		2.9	0.50	3.5	0.50	
1 室温	病室:夏26℃、冬24℃	2.9	0.38	4.0	0.57	
2 外皮性能	-	3.0	0.25	3.0	0.43	
3 ゾーン別制御性	-	3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御	-	1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式	-	3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境		2.0	0.25	3.8	1.00	2.3
3.1 昼光利用		1.8	0.30	4.2	0.30	
1 昼光率	病室:1.25%以上	1.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口	-	-	-	-	-	
3 昼光利用設備	-	3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策		1.0	0.30	3.0	0.30	
1 昼光制御	-	1.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度	-	3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御	病室:ベッド単位で細かい制御が可能	3.0	0.25	5.0	0.25	
4 空気環境		3.9	0.25	3.7	1.00	3.8
4.1 発生源対策		4.0	0.50	4.0	0.63	
1 化学汚染物質	全面にF☆☆☆☆を採用	4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気		3.0	0.30	3.3	0.38	
1 換気量	病室:建築基準法の1.4倍以上の換気量を確保	3.0	0.50	5.0	0.33	
2 自然換気性能	病室:自然換気有効開口面積が居室床面積の1/15以上	-	-	4.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮	-	3.0	0.50	1.0	0.33	
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視	-	-	-	-	-	
2 喫煙の制御	全館禁煙	5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能			0.30			3.1
1 機能性		3.0	0.40	3.2	1.00	3.0
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性	-	-	-	3.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応	-	-	-	-	-	
3 バリアフリー計画	-	3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	3.5	0.40	
1 広さ感・景観	病室:天井高2.5m	-	-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース	-	-	-	-	-	
3 内装計画	-	3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	-	3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保	-	3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	-	3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能	-	3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.1	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数	-	3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上材の補修必要間隔	-	2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上材の更新必要間隔	床:ビニル床シート、壁・天井:ビニルクロス	5.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	ステンレスダクトを採用	4.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	-	3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔	-	3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性		3.2	0.20	-	-	
1 空調・換気設備	熱源種の分散化、吊配管	4.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備	-	3.0	0.20	-	-	
3 電気設備	-	3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法	重要機器は耐震クラスA	4.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備	-	2.0	0.20	-	-	

3	対応性・更新性		3.3	0.30	3.3	1.00	3.3
3.1	空間のゆとり		4.0	0.30	3.6	0.50	
1	1 階高のゆとり	共用部:3.84m、病室部:3.8m	4.0	0.60	4.0	0.60	
2	2 空間の形状・自由さ	共用部:0.1≤壁長さ比率<0.3	4.0	0.40	3.0	0.40	
3.2	荷重のゆとり	—	3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3	設備の更新性		3.2	0.40			
1	1 空調配管の更新性	—	3.0	0.20			
2	2 給排水管の更新性	—	3.0	0.20			
3	3 電気配線の更新性	—	3.0	0.10			
4	4 通信配線の更新性	ケーブルラック、配管配線の採用	5.0	0.10			
5	5 設備機器の更新性	—	3.0	0.20			
6	6 バックアップスペースの確保	—	3.0	0.20			
Q3	室外環境(敷地内)		3.0	0.30			2.7
1	1 生物環境の保全と創出	—	3.0	0.30			3.0
2	2 まちなみ・景観への配慮	—	3.0	0.40			3.0
3	3 地域性・アメニティへの配慮	—	2.0	0.30			2.0
3.1	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	—	2.0	0.50			
3.2	3.2 敷地内温熱環境の向上	—	2.0	0.50			
LR	建築物の環境負荷低減性						3.2
LR1	エネルギー			0.40			3.2
1	1 建物外皮の熱負荷抑制	断熱性能の高い建材を使用	5.0	0.20			5.0
2	2 自然エネルギー利用	—	3.0	0.10			3.0
3	3 設備システムの高効率化	—	2.6	0.50			2.6
	集合住宅以外の評価		2.6	1.00			
	集合住宅の評価						
4	4 効率的運用		3.0	0.20			3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00			
4.1	4.1 モニタリング	—	3.0	0.50			
4.2	4.2 運用管理体制	—	3.0	0.50			
	集合住宅の評価						
4.1	4.1 モニタリング	—					
4.2	4.2 運用管理体制	—					
LR2	資源・マテリアル			0.30			3.4
1	1 水資源保護		3.8	0.20			3.8
1.1	1.1 節水	自動水栓に加えて、節水型便器を採用	4.0	0.40			
1.2	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.7	0.60			
1	1 雨水利用システム導入の有無	井水を利用	4.0	0.70			
2	2 雑排水等利用システム導入の有無	—	3.0	0.30			
2	2 非再生性資源の使用量削減		3.3	0.60			3.3
2.1	2.1 材料使用量の削減	—	2.0	0.11			
2.2	2.2 既存建築躯体等の継続使用	—	3.0	0.22			
2.3	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	—	3.0	0.22			
2.4	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	床:磁器質タイル、ビニル床タイル	4.0	0.22			
2.5	2.5 持続可能な森林から産出された木材	—	-	-			
2.6	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	OAフロア、フリーアクセスフロアを採用	4.0	0.22			
3	3 汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20			3.3
3.1	3.1 有害物質を含まない材料の使用	—	3.0	0.30			
3.2	3.2 フロン・ハロンの回避		3.5	0.70			
1	1 消火剤	—	-	-			
2	2 発泡剤(断熱材等)	GWP値の低い断熱材の採用	4.0	0.50			
3	3 冷媒	—	3.0	0.50			
LR3	敷地外環境			0.30			3.0
1	1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率:81%	3.7	0.33			3.7
2	2 地域環境への配慮		2.3	0.33			2.3
2.1	2.1 大気汚染防止	—	3.0	0.25			
2.2	2.2 温熱環境悪化の改善	—	2.0	0.50			
2.3	2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.5	0.25			
1	1 雨水排水負荷低減	—	3.0	0.25			
2	2 汚水処理負荷抑制	—	3.0	0.25			
3	3 交通負荷抑制	—	3.0	0.25			
4	4 廃棄物処理負荷抑制	—	1.0	0.25			
3	3 周辺環境への配慮		3.1	0.33			3.1
3.1	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40			
1	1 騒音	—	3.0	0.50			
2	2 振動	—	3.0	0.50			
3	3 悪臭	—	-	-			
3.2	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40			
1	1 風害の抑制	—	3.0	0.70			
2	2 砂塵の抑制	—					
3	3 日照障害の抑制	—	3.0	0.30			
3.3	3.3 光害の抑制		3.7	0.20			
1	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	周囲への漏れ光に配慮した屋外照明計画	4.0	0.70			
2	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	—	3.0	0.30			

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 追補版

(仮称)京都田辺中央病院 中央館 増築工事

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	2.0	2.0	-	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	5.0	5.0	○	○	-	-	-	○	-	○	-	○	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	4.0	4.0	-	○	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	2.0	2.0	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	2.0	2.0	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	1.0	1.0	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	7.0	7.0	2.0	-	1.0	-	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	3.0	3.0	2.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0	1.0	-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	5.0	5.0	-	1.0	-	-	-	-	-	2.0	2.0	-	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0	1.0	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	4.0	4.0	1.0	-	-	2.0	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	2.0	2.0	-	-	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0	3.0	1.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	-	窓の日射熱取得率(η)	-	外壁	-	床	-
U値(W/m ² K)	窓システムU値	屋根	-	外皮UA値	-	ηAG	-
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	-	ηAG	-	ηAH	-
透光率	2.4%						
自然換気有効開口面積率	7.3%						

3.1.1 昼光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

1.1.2 高度情報通信設備対応

1.2.1 広さ感・景観

1.2.2 リフレッシュスペース

2.2.1 躯体材料の耐用年数

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

3.1.1 階高のゆとり

3.1.2 空間の形状・自由さ

3.2 荷重のゆとり

執務スペース	.0m ² /人	病床	.0m ² /床	シングル	.0m ² ツイン	.0m ²
コンセント容量	0.0 VA/m ²					
天井高	2.5 m					
リフレッシュスペース	0.0%	レストスペース	0.0%			
想定耐用年数	0 年					
想定必要間隔	0 年					
想定必要間隔	20 年					
想定必要間隔	0 年					
階高	3.84 m					
壁長さ比率	24.0%					
床荷重	- N/m ²					

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

3.2 敷地内温熱環境の向上

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

2 自然エネルギー利用

外構緑化指数	#DIV/0!	建物緑化指数	0%				
空地率	0%	水平投影面積率	0%	地表面対策面積率	0%	舗装面積率	0%
BPI/BPI _m	0.74	断熱等性能等級	0 相当				
自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年m ²	採光を満たす教室数	0.0%	採光を満たす住戸数	0.0%		
		通風を満たす教室数	0.0%	通風を満たす住戸数	0.0%		
		太陽光	.0kW	太陽熱等	.0kW	蓄電池	.0kW
BEI/BEI _m	再エネ有 0.76	無 0.76	オフサイト再エネ有	-	-		
一次エネルギー削減率	再エネ有	無		-	-		

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

3.2.1 消火剤

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

3.2.3 冷媒

雨水利用率	0.0%						
特定調製品目	磁器質タイル	エコマーク商品	ビニル床タイル	自治体指定の特定品目等	-		
使用比率	0.0%						
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)					
オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	3				
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)					

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	#DIV/0!	隣接間隔指標Rw	-				
地表面対策面積率	7.0%	屋根面対策面積率	#DIV/0!	外壁面対策面積率	#DIV/0!		
見付面積S _b	m ²	卓越風向と直交する最大敷地面積W _s	0 m	基準高さH _b	0 m		
緑地	m ²	水面	m ²	保水性対策面	m ²	高反射対策面	200m ²
				再帰性反射対策面	m ²		